

『経営戦略実践講座』

第1,2回 講座ダイジェスト

実施日 : 2017年8月22日(火) 12:00-19:00
23日(水) 9:00-17:00 @京都市サーチパーク
参加人数 : 20名(全員参加)
担当講師 : 学校法人産業能率大学 松尾先生

§ オリエンテーション

1) 本講座の目的の確認

今回の講座の全体についてご説明しました。

経営活動から導き出す結果(儲けや体力)を分析し、経営活動の改善を進めていくサイクルをお話しました。

そのための展開方法として…

- ・戦略に基づいた経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)の配分の考え方、そして経営の意思決定のポイントを学ぶことができる「戦略シミュレーション学習」を通じて、企業経営の全体を掴みます。
- ・またケース事例を学びながら、企業の収益構造や儲けの仕組みを具体的に学び、自社活動のヒントに繋がります。

2) 各会合の位置づけ

- ・第1/2会合: 戦略シミュレーションから企業活動の全体観を掴む
- ・第3会合: ケース演習トレーニングを通じた企業分析思考
- ・第4会合: ケース演習トレーニングを通じた戦略シナリオ思考
- ・第5会合: 自社の戦略シナリオ作成と共有
- ・第6会合: 自社の収益向上に向けた、今後の戦略シナリオ

3) 自己紹介

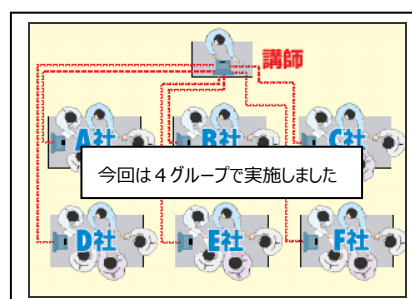
事前課題「自己プロフィール」をもとに、自社のこと、ご自身のことなどを紹介頂き、全体で共有しました。

§ 講座内容

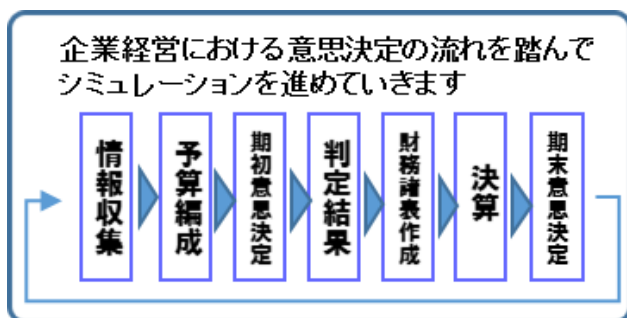
1) 戦略シミュレーションのガイダンス

経営のシミュレーションを進めていくにあたり、必要な知識や考え方をお伝えしながら、パソコンを用いた仮想市場の企業経営をしていきます。メンバーは、各グループにわかれ、1つのグループが1つの会社となって、互いに仮想市場での販売競争を行います。

各グループのメンバーは、「社長」「営業部長」「製造部長」「資材部長」「財務部長」「総務部長」の役割を担い、グループ討議を深めながら、部門間の調整を取り付け、様々な経営の意思決定をしていく流れを掴んで頂きました。



グループ討議の具体的な流れは、下図の通りです。パソコン上で収集できる情報をもとに、期初に経営計画を立て



て意思決定をします。同様に各グループからも経営の意思決定がされ、仮想市場の中で競い合います。その結果が判定されて各グループの活動結果が具体的な数字として現れてきます。その数字を確認しながら、決算書の作成を進めていきます。第1期、第2期は、講師と一緒に会社創設から立上げの流れを経験いただき、第3期目以降は、グループによる自主経営を行いました。

2) 講義・解説のポイント

講師からは、シミュレーション経営を1期回す度に、その内容の振り返りと解説を加えながら理解を深めていきました。第1期、第2期では、会社設立から経営の流れを掴むところまでを、講師の指示のもと確認いただきました。第3期では、企業活動と財務諸表（P/L, B/S）との関係性、企業活動の実態を表す、主な各指標を確認していきました。同時に、分析指標を知ることで、各社の活動状況を情報として得ることができ、自社の活動の参考にすることも実感いただきました。第4期になり、各グループの経営状況に動きが現れてきました。期初の計画と実績の比率をみることで、自分自身が想定している自社の計画と、実際の経営活動の結果がどの程度乖離しているかを把握することに繋がるのです。第5期は実際の実務では、こうした景気情報もしっかり取ることが大事であることを確認いただきました。

3) 受講者の振り返り

- ・コミュニケーションの重要性、意思決定の難しさ、日々の仕事とも繋がることも学ぶことが出来た。
- ・計画したことが数字に表れてくることを実感することが出来た。
- ・基礎的な知識をもっと学ぶことと、実務を意識して取り組むことの重要性を理解することが出来た。
- ・どう意思決定をすると、決算書のどの部分に反映されるか。もっと理解を深めていきたい。
- ・話し合いの仕方でも、代替案を出しながら、お互い考えながら進めることができ、実務でそうしていきたい。

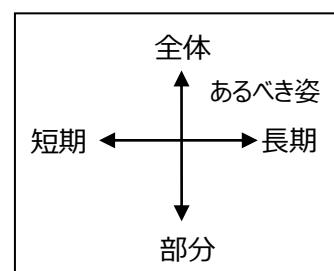
4) 講師からの振り返り

今回、専門性が異なる人たちが集まりシミュレーション経営に向けた議論をして頂きましたが、自分の専門性以外の部分についても知っておくと話し合う質が高まっています。今回の学習から、ミーティングの生産性の重要性も感じました。2日間を通じて、かなりの時間を使って話し合っていました。経営を担うためにも、こうした話し合いを大事にして欲しいです。そして、経営全体を見る眼を持って、部分を見る眼を養って欲しいです。同時に、短期的な視点だけでなく長期的な視点を持つようにして下さい。図のように理解しながら、バランスを取りながら磨いていく力を学んで下さい。次の会合では、その経営活動と数字のつながりについての理解を深めるために、詳しく学んでいきます。

§ 次会合の課題について

大手家具メーカー（2社）の決算書情報を読んで

1. 各社企業の決算書分析を行い、把握できたことを箇条書きで記入してください
2. 分析の結果から、どのような違いを読み取ることが出来たのか記入してください



以上